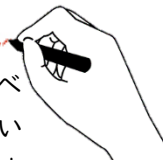




2022-1 次隊 岡崎 友里



ヨルダンの教育と学校



帰国まで 1 か月を切りました。皆さんにとっても学年のまとめの時期ではないでしょうか。今回はこれまで調べたり、話を聞いたりしてわかったヨルダンの教育や学校に関する自分のためにもまとめます。日本とのちがいに驚くことが多いのではないのでしょうか？世界の学校に目を向ける機会になれば嬉しいです。(※地域や学校によって異なることがあり、全てが紹介するものに当てはまるとは限りません。)

教育制度



幼稚園 3才 4才 5才 小学校 1 2 3 4 5 6 中学校 1 2 3 高校 1 2 3 大学など



幼稚園 KG1 KG2 4才 5才 (義務的)基礎教育 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 中等教育 11 12 大学など 無償(無料) 公立は無料



特定の学年から男女別

以前に紹介したこともあるように(No.23)、ヨルダンでは9月に新年度を迎え、2学期制です。

男女共学が一般的な日本の学校に対して、ヨルダンでは、学校によって異なりますが、小学校3~5年生から男女分かれて学習します。共学だった学校の男子児童の多くは4年生から男子校へ行きます。

教育制度



4月はじまりの2/3学期制

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2学期制	前期						後期					
3学期制	1学期						2学期				3学期	



9月はじまりの2学期制

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2学期制						前期					後期	
2学期制	後期											

ヨルダンの人口の約40%以上が19歳以下、平均年齢が22.8歳(2018年CIA発表※日本は47.7歳)という子どもや若者の多い国なのです。それゆえに教育学校現場では、「子どもの数に対して、学校や教室、教員の数が足りない。」という問題を抱えています。40人を超えるクラスもあり、2人掛けの椅子に3人、4人で座ったり、教室に通路を確保する隙間がないため、移動は机の上を歩いたり…そんな子どもたちを一人で受け持つ担任の先生は一苦労という状況を目にしました。

また、さまざまな事情により、学校へ行けなかったり、中退してしまったりする子もいます。



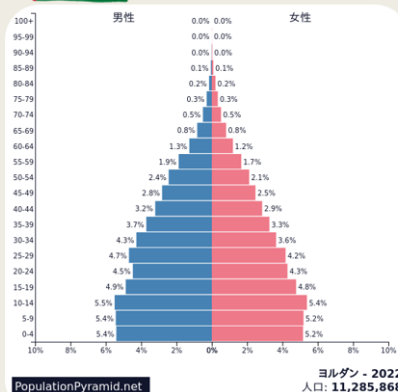
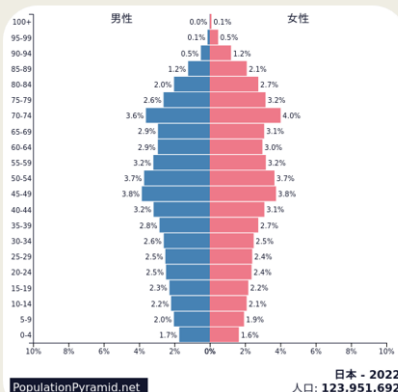
人口ピラミッド



約1億2,400万人



約1028万人



ヨルダンの学校は3種類

公立学校

・教育省(国)や教育局(都道府県)の管理下にある学校。日本の学校と同じように「(義務的)基礎教育」(日本で言う小学校1~6年生、中学校1~4年生)では学費や教科書は無料。



UNRWA学校

・UNRWAが管理・運営する学校。パレスチナ難民の子どもたちが通い、学費や教科書は無料。国内に161校ある。1年生~10年生(6歳~15歳)の11万人の子が通っている。

※UNRWA:国連パレスチナ難民救済事業機関。

※国連(国際連合):国際平和と安全を維持し、そのためにさまざまな問題に対して調整や解決を図る国際平和機関。)

私立学校

・個人や団体が管理・運営する学校。

※今回は、私立を除いた公立とUNRWAに焦点を当てて紹介します。

学校の行事

- ・独立記念日
- ・ラマダン明けのお祝い(イード)
- ・国を挙げてのお祝い(皇太子の結婚式)
- ・世界教師の日
- 祝日や国を挙げてのお祝いごと など

日本の学校のような

始業式、入学式、卒業式、音楽会、運動会、マラソン大会...

ありません



学習内容

- ・アラビア語(国語)
- ・英語
- ・宗教(イスラム教)
- ・算数
- ・理科
- ・社会
- ・体育
- ・図工
- ・音楽
- など

日本で言うところの体育科や音楽科、図画工作科の情操教育は、実施率が低いのが現状です。

現地の先生が授業を行えるように協力隊が活動中!

公立小学校:1名

UNRWA小学校:7名

※2024年2月現在

気が付けば...安定の Let's talk in Arabic のスペースがなくなっていました...

次回はもっと詳しくUNRWA学校について、そしてそこで活動する隊員さんについて紹介します!それでは、また次回!



مع السلامة